



2021年 6月 7日
第144号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



夏季手当について職場からさまざまな声が届いています！

住宅ローンの返済があるので夏季手当が必要です。

航空業界と比較して、貰えるだけ良いと意見を述べた人がいますが、私たちは航空会社のように大幅に減便したいしていません。むしろ、精神を削って全力で仕事に取り組んでいます。

会社の中で一番頑張っているのは現場の第一線の社員であることを忘れるな。

社員と家族の幸福の実現と言うが、夏季手当が満額回答でなければそれは実現されない。

人材は宝であり、安定した夏季手当の支給は社員のモチベーションの維持に大きく関わる。人材流出は避けなければならない。

私たちはコロナ禍が始まって以来、継続して毎日安全確保のために頑張っています。

社員に経営赤字の責任を取らせるような手当カットは理不尽。

航空会社とは状況が異なります。私たちは通常通り業務をしています。

定昇も減らされ、ベアなしでさらに夏季手当もカットとなれば、JR東日本に所属するメリットがなくなる。

あまりにも夏季手当が少なければ、転職も考えてしまうかも。

団体交渉の会社回答が何を言っているのかわからない。組合員や社員に対して答えていないと感じる。社員の声をきちんと受け止め、誠意をもって回答してほしい。

社員の幸せというのであれば、究極的にはお金の話になってしまうので、手当はしっかりとした額を出すこと。

社員の生活とモチベーション維持のために満額回答を求める！